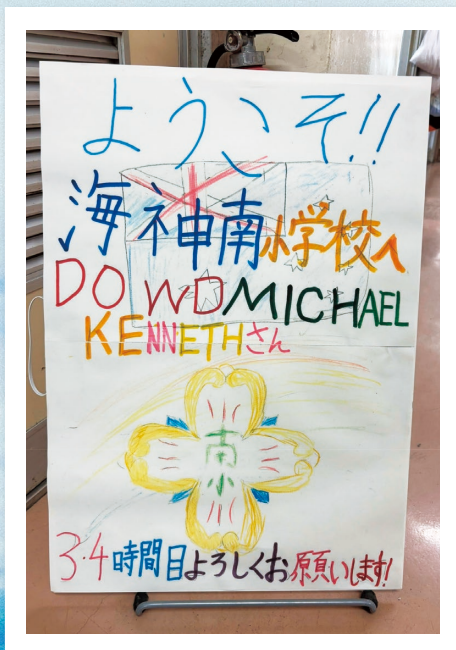


国際交流つうしん



P.5 ちば多文化みらい共創講座
児童のみなさんが作ってくれたウェルカムボード



P.5 ちば多文化みらい共創講座

目次

P.2～3 外国人相談事業の充実に向けて

P.4～5 事業報告（令和7年3月～6月）

P.6 あなたの街の国際交流・協力団体

～八街市国際交流協会～

今後の行事予定

P.7 JICA千葉デスクのページ

P.8 世界からようこそ千葉県へ

～スリランカ民主社会主義共和国～

広告

「日本語を教える」としたら **スリーエーネットワーク**

好評発売中



千駄ヶ谷日本語教育研究所 著
1,540円（税込）B5判

試験合格のポイント狙い撃ち！

**JLPT文法N5
ポイント＆プラクティス**

本シリーズ3つのポイント

- ・限られた時間でポイントを絞って効率的に学べる
 - ・試験と同形式の練習問題で、出題形式に慣れる
 - ・英・中・ベトナム語の解説が充実。独習にも使える
- 発売中のシリーズラインナップはこちらから



最新刊や教材の使い方セミナーの情報等は <https://www.3anet.co.jp/>

広告

入管手続きは行政書士にお任せ下さい。

申請取次行政書士に申請依頼をすると、申請人本人は
出入国在留管理局への出頭が免除されるので、**仕事や学業に専念**することが可能です。

お問い合わせは…



千葉県行政書士会

www.chiba-gyosei.or.jp/



〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目13番10号
TEL：043-227-8009 FAX：043-225-8634



外国人相談事業の充実に向けて

千葉県国際交流センターでは、3名体制のチームで外国人相談業務を行っており、電話通訳を活用してベトナム語・インドネシア語・タイ語を含む13言語に対応しています。相談者の声に丁寧に耳を傾けたうえで、状況を整理し、必要な情報提供や支援機関へつないでいます。センターで相談対応しているため、国際交流センターの経験豊富な職員からも連携機関の情報を得ることができる点が大きな強みです。

さらに、相談の質と対応力の向上を図るため、以下の取り組みを継続しています。

- ・定期的な情報共有…週に一度、チームミーティングを行い、相談対応の振り返りや情報の共有をする。
- ・専門性の強化…入管や関係機関が実施する研修に積極的に参加し、最新情報や制度に関する知識のアップデートに努める。
- ・業務の効率化と支援体制の充実…昨年度、相談内容に応じた支援機関の情報を一覧にした「外国人相談基本対応ガイドライン」を作成。経験の浅い相談員でも、必要な情報を速やかに相談者に提供することが可能。（ガイドラインは随時情報を更新し、常に最新の状態を保つよう努めています。）

また、今年度新たに相談専用のメールアドレスを設けました。日中に電話するのが難しい方はメールで相談が可能です。

令和6年度に多かった相談内容は、以下のとおりです（相談が多い順）

1. 法律・各種制度（弁護士・行政書士への相談含む）
2. 在留資格に関すること
3. 日本語教室・講座について
4. 就労に関すること（労災、給与未払い、職場でのハラスメントなど）
5. 生活に関すること全般



年間の相談件数は1,500件を超えており、相談者の状況やニーズに寄り添った支援ができるよう、今後も学び続けながら、よりよい相談体制を目指して行きたいと思います。

☆外国人相談・法律相談のチラシとカードをリニューアルしました☆

外国人相談および無料法律相談のチラシとカードを刷新しました。
見やすくなったチラシをセンターのHPでぜひご覧ください。



千葉県外国人相談カード

令和7年度 外国人のための無料法律相談の日程

千葉県国際交流センターでは、千葉県弁護士会・千葉県行政書士会と協力し、原則第1・第3月曜日に無料法律相談会を実施しています。令和7年度の日程は以下の通りです。通訳をつけることもできますので、詳細は予約時にお問い合わせください。

第1回	4月7日（月）	第7回	7月7日（月）	第13回	10月6日（月）	第19回	1月9日（金）
第2回	4月21日（月）	★第8回	7月22日（火）	第14回	10月20日（月）	★第20回	1月19日（月）
第3回	5月7日（水）	第9回	8月4日（月）	第15回	11月4日（火）	第21回	2月2日（月）
★第4回	5月19日（月）	第10回	8月18日（月）	★第16回	11月17日（月）	第22回	2月16日（月）
第5回	6月2日（月）	第11回	9月1日（月）	第17回	12月1日（月）	第23回	3月2日（月）
第6回	6月16日（月）	★第12回	9月16日（火）	第18回	12月15日（月）	★第24回	3月16日（月）

★…行政書士相談あり

外国人相談新スタッフの研修について

CINGA（特定非営利活動法人 国際活動市民中心）のコーディネーター、新居みどりさんのご案内のもと、以下の都内3か所を視察しました。

■ 外国人総合相談支援センター（しんじゅく多文化共生プラザ内）

在留資格の問題をはじめ、在住外国人の生活の中で起こりうる様々な相談を受け付けている、東京出入国管理局主管の相談センターです。当事者の在留資格、家族構成、居住地、日本語の習熟度など様々な状況を考慮しながら異なる事案にワンストップで対応しています。相談支援を長く務められているベテラン職員が多数在籍し、経験の積み重ねが相談対応の質を高めていることが伝わる頼もしい施設です。

■ FRESC（外国人在留支援センター）

外国人の在留支援に関する4省8機関（東京出入国管理局・東京法務局人権擁護部・法テラス等）がワンフロアに入居し、在留資格、労働、人権、法律相談や就職に関する相談先としての役割を果たしています。また、千葉県国際交流センターのような一元的相談窓口や地方公共団体職員のために研修を実施するなど、外国人がスムーズに在留するための様々な支援を行っています。



コモレ四谷タワー
(FRESCは13Fにあります)

■ CINGA（特定非営利活動法人 国際活動市民中心）

在住外国人の様々な問題の解決を目指しているCINGAでは、行政、企業、市民等が手を携えながら多文化共生に向けた歩みを共に進めるための活動を行っています。そのために、外国人相談、地域日本語教育、行政施策など各分野のプロフェッショナルが在籍し、様々なプロジェクトを行政や各国際交流協会などを対象に行っています。



CINGA 新居みどりさん

いずれの施設・団体も個人の問題解決だけでなく、自治体や各地域の国際交流協会からの相談にも応じたり、研修を行ったりしています。千葉県国際交流センターも多くを学ばせていただいています。

今回は視察に加えて、新居さんによる様々なレクチャーを受けることができました。外国人相談の実践的なケーススタディでは、外国人相談の奥の深さや、必要となる背景知識の多さを知りました。さらに、当日は新居さんが講師として実施された千葉県内の公立小中学校教員のためのオンライン研修にも参加することができました。外国人児童・生徒への適切な支援のためには、在住外国人の現状を知ることが大切であることがよくわかりました。また、千葉県の今後の多文化共生社会に活かせる内容が多く、今回学んだことを活かし、これからも業務に励みたいと思いました。

新居さん、各施設の関係者の皆さま、ありがとうございました。

新スタッフ紹介 今年度より新たなスタッフが加わりました！

鷹野（TAKANO）さん

国際交流や国際協力への関心が高く、好きな分野で励みたいと思い入職しました。外国人相談事業と地域日本語教育推進事業に携わり、そして皆さんが今読んでくださっている『国際交流つうしん』の編集を担当しています。趣味は歌、編み物、食べられる野草を探しておいしくいただくことなどです。チーバくんの顎あたりで、鼻歌まじりで野草探しをしている人がいたら、私かもしれません。在住外国人の方々や、共に暮らす日本の方々の双方にとってより住みやすい千葉県になれるよう、務めさせていただきます。

小原（OHARA）さん

地域共生社会という言葉が、入職して身近になりました。外国人相談を担当し、お困りごとに寄り添って、一緒に方向性を見出していこうと奮闘中です。「ちば多文化みらい共創講座」も担当、子どもたちが外国出身の講師とふれあい、世界を広げる機会に関われることをうれしく思っています。好きなことは釣りとバイクとキャンプで、千葉の魅力を満喫しています。



FRESC訪問時のお二人
(左から鷹野さん・小原さん)

◆チーバくんグローバルパートナーズ任命式@千葉県庁（4/22）

千葉県では、外国人の視点から県の施策へ意見・提案をしてもらうほか、情報発信や県の行事への参加などを通して、誰もが暮らしやすい県づくりを進める「チーバくんグローバルパートナーズ事業」に取り組んでいます。

今年度は、ベトナム・中国・カナダ・イタリア・スリランカ・台湾など、15の国・地域から24名の外国人が新たにパートナーとして任命されました。

県庁舎で行われた任命式には、各国の華やかな衣装を身にまとったパートナーたちが集まり、それぞれが「千葉県をもっと良くしたい」「多文化共生に貢献したい」という意気込みを語りました。皆さんの熱意を感じ、とても印象的でした。

◆「令和7年度日本語学習支援者基礎研修
～はじめて支援を行う方へ～」を開催しました（6/5・12・19・26、7/3）

日本語学習支援に興味を持つ千葉県民を対象とした基礎研修です。講師は東京にほんごネット代表の有田玲子先生にご担当いただきました。

お住まいの地域で外国の人たちを多く見かけようになり、交流をしてみたいと思った方から、言葉で困っている彼らを支援したいと思った方、地域の日本語教室で実際に支援を行いたいと思った方など、さまざまな目的を持った受講者が32名参加しました。

研修では、地域日本語教室の役割や、「やさしい日本語」の習得の大切さを知った受講者の方々。研修中に度々行われるロールプレイ研修でも積極的に参加される様子が見られました。



◆新しい地域日本語教育コーディネーターの紹介

千葉県国際交流センターでは、令和4年度より配置した「地域日本語教育コーディネーター」の職務について、東（ひがし）美奈子さんに新たに加わっていただきました。千葉県の地域日本語教育の推進にますます力を注いでいきます。

（東さんのコメント）

長年、放送のことばの調査・研究に携わり、辞書編纂や番組制作にも関わってきました。日本語教育との出会いは、近所の日本語教室でのボランティア活動です。そこで出会った学習者さんの熱心さに心動かされ、本格的に日本語教育の勉強をはじめ、オンラインや日本語学校で指導経験を積みました。

日本語教室を語る時に使われる「居場所」ということばが好きです。支援者と学習者、双方にとって大切な場所を持続可能なものにするため、県内各地へ足を運び、直接お話を伺い、丁寧に業務に取り組む所存です。「チーム日本語」の一員として尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



地域日本語教育推進チームのみなさん
（右から2番目が東さん）

◆ちば多文化みらい共創講座

講師育成・スキルアップ講座&意見交換会（6/7・28）

千葉県国際交流センターでは、在住外国人と小中学生との交流を通じて多文化共生について学ぶ授業を令和2年度から外部の助成金を活用して実施しています。今年6年目となる本事業は、「ちば多文化みらい共創講座」に名称を変更し、新たな国の講師の登録や、講師のスキルアップにも力を入れています。

7日は中国出身の中村百合香さん、28日はペルー出身の上村寿安カルロスさんをお招きしてデモ講演を行ったあとに、小中学生にどのようなアプローチで興味を持ってもらえるか、意見交換を行いました。意見交換会では簡単にできる外国のゲームの実践や、日本と外国の学校生活の比較など、さまざまな国の学校事情に触れることのできる1日でした。参加者からも、「他の講師の講演を聞いたり、交流できる貴重な機会を持てて楽しい。」と好評でした。



@船橋市立海神南小学校（6/13）

オーストラリア、中国、ウクライナ、ベトナム出身の4名の講師が船橋市立海神南小学校の5年生を対象に講演を行いました。ベトナムの食べ物の紹介、オーストラリアのフットボール試合の熱烈観戦や、ウクライナの伝統的なゲームなどで楽しみました。

中国出身の児童と講師が、中国語で交流する場面も見られました。学校の多国籍化に伴い、児童のみなさんが外国出身の子どもたちのバックグラウンドを学ぶことで多文化共生を考えるきっかけとなることを願っています。



その他の 開催はコチラ

6月5日（木）	日本医科大学看護専門学校	スリランカ
6月21日（土）	船橋市立高根公民館	ベトナム
6月21日（土）	印西市	カナダ
6月24日（火）	松戸市立東部小学校	ウクライナ・スウェーデン ミャンマー・ベトナム

●●● 多文化子育てサロン ●●●

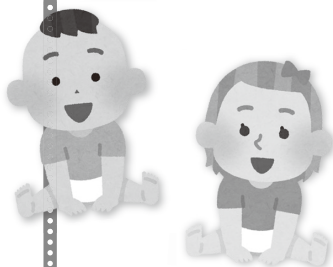
日本で出産・子育てをする外国人の方が増える一方、日本人のあいだでも英語教育への関心が高まるなど、グローバルな感覚をもつ子どもを育てたいという声が聞かれるようになっていきます。

そこで、千葉県国際交流センターでは、外国人のママ・パパのサポートや、日本人と外国人の親子が一緒に楽しめるサロンの開催などを通じて、出産・子育てをきっかけに多文化共生の輪を広げる活動に取り組んでいます。

今年度は、千葉市と印西市で「多文化子育てサロン」を開催予定です！

外国人と日本人の親子やプレママが集まり、リラックスヨガやベビーマッサージを楽しんだり、子育ての悩みを共有したり、お互いの国の子育て事情についておしゃべりしたりできる、温かな交流の場にしたいと考えています。

最新情報は**千葉県国際交流センターのHP**や**Facebook**、**Instagram**、**X**などで随時お知らせします。ぜひ楽しみにしていてくださいね！



八街市における国際交流は、昭和50年代にミクロネシア連邦の子供たちの来町など熱心に行われてきました。その後は民間団体による台湾高雄市との交流や、野球を通じてのフィリピンの方々の来町などが行われました。

八街市では毎年外国人が増加し、現在は3000人を超える外国人が住んでいます。市内にはいくつかの外国人研修センターがあり、毎日市役所の市民課窓口には多くの外国人が列をなしています。そのような中、国籍を問わず多くの人たちの交流を通じて、相互の理解と友好親善を深め、国際性豊かな人材の育成と多文化共生社会を実現し、地域社会の発展及び世界平和へ寄与することを目的として、本協会は令和3年4月に設立しました。会員は現在約80名となっています。

主な活動として、研修事業、交流事業、支援事業の3つの事業に取り組んでいます。研修事業としては、JICA国際理解大学、日本語教室、英会話教室、スペイン語教室を行っています。交流事業としては、小中学校での海外の国とのオンライン交流、海外からの生徒受け入れ、海外への中学生派遣を、また支援事業としては、外国人相談、情報提供などを行っています。

特に、交流事業においては、令和4年からインドネシアのチアンジュール県との交流をきっかけに市内の中学校とのオンライン交流を実現。令和5年には、チアンジュールの中学生が2度来市し、市内の中学校を訪問、ホームステイ、秋の八街神社大祭への参加などを行いました。令和6年には、市内4中学校の代表生徒8名がチアンジュール県を訪問し、同県の中学生との交流や授業体験などを行ってきました。今年はモンゴル国ウランバートル市の小中学生の来市や、JICAの協力を得てラオス



チアンジュールの子どもたち
(成田山にて着物体験)

人民共和国とのオンライン授業を計画しています。

協会主催の日本語教室には、多くの人が日本語の勉強に来ていますが、月2回の教室ではまだまだ足りないなので、より広報活動をし、多くのボランティア、外国人の参加を募っていきたいです。これからも多くの皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



日本語教室の様子
ほぼマンツーマンで支援しています

<お問合せ> 八街市国際交流協会

ホームページ： <https://yaifayachimata.wixsite.com/index>

連絡先：八街市総務部市民協働推進課

TEL：043-312-1140

E-mail： shiminkyoudou@city.yachimata.lg.jp

今後の行事予定

事業	内容	時期(予定)
ちば多文化みらい共創講座	外国人講師による出身国の紹介と、ディスカッション等を中心としたクラス授業の実施	随時
日本語学習支援者フォローアップ講座	日本語学習支援者を対象に、学習支援技術の向上を図る講座	9～11月
日本語学習支援者基礎講座	学習支援に必要な心構えや基礎知識を学ぶ講座	10・11月
災害時外国人サポーター養成講座	災害時に外国人をサポートする人材を育成する講座(成田市、富里市)	10・11月
多文化子育てサロン	外国人と日本人の親子のための交流サロン	9～1月
国際理解セミナー	県民に広く、国際理解を図る講座	12・2月
国際交流・協力等ネットワーク会議	民間国際交流団体や市町村国際交流協会担当者による情報交換	未定
外国人相談担当者意見交換会	県内の外国人相談担当者向けの講演・情報交換	未定
千葉県地域日本語教育フォーラム	県民を対象に地域日本語教育の理解を深めるための講演、参加者間の交流・意見交換	未定

JICA千葉デスクが交代しました

「Cảm ơn!」カム オン! JICA千葉デスクに着任いたしました岡本多永（おかもとたえ）と申します。ソウルフルな都市大阪で育ち、福岡で公立中学校の英語教員をして、その後、国内とベトナムで探究学習を通して教育コンサルティングをしておりました。冒頭の「カム オン!」は、ベトナム語でありがとう、という意味です。この記事をご覧くださいにしている皆様、ありがとうございます！千葉には6年ほど住んでおり、都会と自然が融合しているこの町が大好きです。10年以上教育の現場に関わることが出来て、さまざまな教育課題を見てきて今、私が信じていることは「子どもや学生、大人を世界とつなぐことが本気で世界平和に繋がる」ということです！

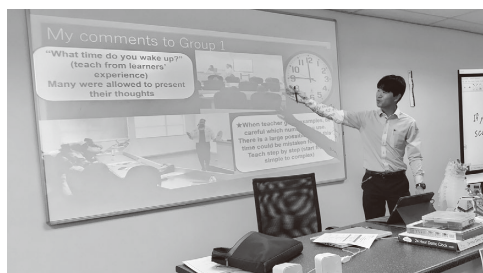
JICA千葉デスクは、千葉県におけるJICAの窓口として、世界とつながり、学び合う活動のお手伝いを致します。「国際協力に興味があるけど、何をしたらよいかわからない」などお困りの方、「JICA海外協力隊」「開発教育」「多文化共生」というワードにピンときた方、JICA千葉デスクまでお気軽にご連絡ください。



子どもたちに授業をする様子

JICA海外協力隊に参加した先生が現地での経験を日本の教育へとつなぐ想い

JICAが実施する「現職教員特別参加制度（※）」を利用してJICA海外協力隊に参加された印西市立原山小学校の本木先生からのお便りをご紹介します！



教員研修の様子

Sawubona!（サウボナ！／こんにちは！）私は2023年7月から2025年3月まで、JICA海外協力隊の一員として、南アフリカ共和国の教員研修センターで活動し、数学科教員の指導力向上を目指して取り組みました。現地では、教材の不足や教員養成の不十分さなど、教育現場にはさまざまな課題が山積しています。こうした中で、私は日本が誇る指導力向上の手法「研究授業」を導入しました。これは、グループで授業案を作成し、模擬授業を実施した後、協議会で改善点を話し合うというものです。互いの知識や経験を共有するこのプロセスを通して、

着実に現地教員の指導力が向上していくのを実感しました。さらに、限られた研修機会を補うために、研修資料や指導動画を掲載したホームページを開設し、「学びたい」という現地の先生方の思いに応えられる環境づくりにも努めました。任地では、日本人が周囲にいない環境でしたが、同僚や近隣の人々の温かさに支えられ、充実した日々を過ごすことができました。この経験を通じて、今後は日本で暮らす外国籍の児童やその保護者の方々の支援にも力を入れていきたいと考えています。異なる文化的背景を持つ人々が安心して暮らし、学べる環境をつくるのが、私にできる恩返しだと思っています。

JICA海外協力隊として過ごした1年8か月は、私に多くの気づきと学びをもたらしてくれました。インターネットで多くの知識に触れられる今だからこそ、実際に見て、感じて、体験することの大切さを子どもたちに伝えていきたいです。また、JICA出前講座などの機会を通じて、協力隊の活動や国際協力の重要性、そして異文化理解の大切さを広める活動にも積極的に取り組んでいく予定です。



グループで模擬授業の指導案を作成している様子

※現職教員特別参加制度とは？

JICA海外協力隊「現職教員特別参加制度」は、公立学校、国立大学附属学校、公立大学附属学校、私立学校及び学校設置会社の設置する学校の教員が現職の身分を保持したまま、JICA海外協力隊（青年海外協力隊、シニア海外協力隊、日系社会青年海外協力隊、日系社会シニア海外協力隊）の活動に参加できる制度で、毎年春募集期のみ募集を行います。詳しくはJICA海外協力隊ホームページをご覧ください。

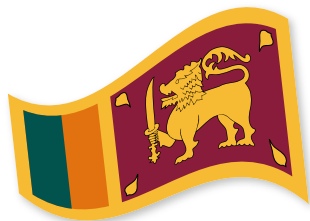
JICA千葉デスクへのお問い合わせは以下までお願いいたします。

千葉県国際交流センター内 JICA千葉デスク 岡本 多永

TEL：043-297-0245 / 090-4024-0441

FAX：043-297-2753 E-mail：jicadpd-desk-chibaken@jica.go.jp





世界からようこそ千葉県へ!

スリランカ民主社会主義共和国



※外務省ホームページより引用

今回は、千葉県国際交流センターに出前講師として登録してくださっている、チャミリ クマラさんの寄稿です。自国や日本での生活を通じて国際社会に貢献することを胸に活躍くださっています。そのチャミリさんより、母国のスリランカについて教えていただきました。

スリランカはインド洋に浮かぶ島国で面積は北海道の約8割。人口は約2200万人です。国名は「光り輝く島」という意味で、太陽の恵みを豊富に受けたこの国は私の母国です。スリランカは1948年に英国より独立、7割を占めるシンハラ人（仏教系）、2割を占めるタミール人（ヒンズー教系）が中心です。かつては宗教や民族対立が続いた歴史があります。

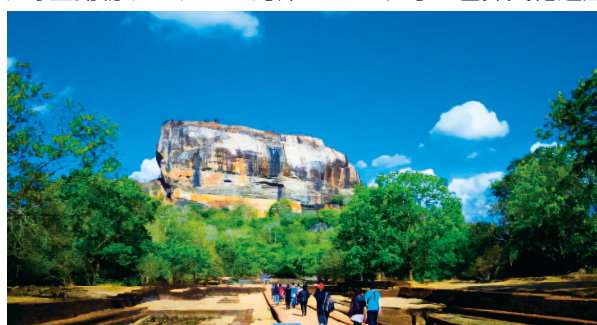
遠くて近い国

スリランカは日本と同じ仏教を信仰していることもあり、大変親日的な国で、日本語熱も盛んです。赤道と北回帰線にはさまれた熱帯性モンスーン気候。平地の年間平均気温は約27度で、立っているだけで、汗が噴きだしてしまいます。

また、車はトヨタ、日産など日本車が大半です。一時期スリランカでは、日本の人気ドラマ『おしん』がシンハラ語に吹き替えて放送、大変人気でした。国民性は穏やかで日本人と共通しています。スリランカ人は現在、日本に約3万5千人滞在しており、遠くて近い国と言われています。

世界文化遺産の多い国

スリランカには「シーギリヤロック」等の仏教遺跡や野生動物サファリ、海岸リゾート等の世界文化遺産



世界遺産 シーギリヤ・ロック



シーギリヤ・レディの壁画

があり、観光資源が豊富な観光国です。世界文化遺産の仏教遺跡の所在地が線で結ぶと三角形になることから「文化三角地帯」と呼ばれています。仏教行事のお祭りでは、多くの象のパレードも人気です。年間約1万人以上の日本人観光客がスリランカを訪問しています。

極甘のセイロンティー

スリランカは紅茶の輸出量が世界一で、生産量も世界2位です。スリランカ中央部は標高1000メートルを超える山々が連なり、紅茶の生産に適した気候、風土です。



極甘のセイロンティー

紅茶生産地の年間平均気温は16度前後で、高地のうえ霧が多く、良質の茶葉ができる条件がそろっています。国内54の紅茶精製工場は全て国営です。

スリランカの名物料理、激辛カレーを食べた後の極甘の1杯はこたえられません。スリランカでは、紅茶に砂糖がたっぷり入ったミルクティーを飲むのが一般的です。



ライス&カレー（スリランカの定番料理）

スリランカは日本の恩人

1951年にサンフランシスコ講和会議が開催され、ジャヤワルダナ代表（後の大統領）は、日本に対する賠償請求権を放棄しました。その際、「憎しみは憎しむことによって消えず、愛することによって消え去る」との、仏陀の言葉を引用した発言に、加盟国より賞賛をうけたそうです。ここからもスリランカの日本への思いやりが感じられます。



公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

〒261-8501 千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンD棟14階
TEL: 043-297-0245 FAX: 043-297-2753 E-mail: ied@ccb.or.jp

<https://www.mcic.or.jp/へgo!>

センター事業の紹介、最新ニュース、講座やイベントなど役立つ情報を掲載。

年3回発行
(7,11,3月)